

栗原市地震防災マップ

地域の危険度マップ

長町—利府線断層帯の地震の場合



○ この地域の危険度マップは、地域が揺れやすさマップ(長町—利府断層帯の地震)において示された強さ(震度)の揺れとなった場合に、地盤の液化化の影響を含めるとの程度の建物被害(全壊及び半壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものである。
○ 地震の発生仕方によっては、被害の状況がこれよりも大きくなるか、小さくなる可能性がある。
○ 長町—利府断層帯は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層である。約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こし、最後の活動は約2000年前ではなかったかといわれている。マウニコード 7.1の地震を想定している。



凡例

木造建築物の全半壊率

0～3%
3～5%
5～7%
7～10%
10～20%
20～30%
30%以上

